

## 「第3回ナイロビ邦人安全対策連絡会」 (医療事情のスライド内容)

本日大使館ホームページ並び領事メールで  
医療機関リストと、大使館ホットライン設置のご案内をさせていただきました。

しかし、  
実際のところ、「治安が悪化している時に、どうすれば？」  
リスト見て、実際にどうしたら良いの?? に尽きると思います  
従いまして、  
第1に、医療機関は利用できるのか  
第2に、治安が悪いなかでも助けてくれる医師がいるのか?  
第3に、大使館の医務官に何を相談してよいのか  
につき、ご説明を追加させていただきます。

### 『1』 治安が悪化しても医療機関は機能するのか?

ナイロビ病院とアガカーン病院は、  
2007年の経験を踏まえ世界標準の医療機関専用災害対策マニュアルに沿って、  
対策を計っています。  
例えばナイロビ病院ですが、出勤しなくても良いように、院内で当直体制シフトとし、  
必要な医師は救急車で出迎える等です。  
医療機関受診が必要な場合には、  
治安などを考慮し、最初からナイロビ病院かアガカーン病院の救急外来を目指して下さい。

### 『2』 医療機関はわかった。しかし、最悪の状況でも助けてくれる医師が、いるのか?

そこで、最終的に信頼できる  
2名の医師 Dr. Dogra と Dr. Bhogal を御紹介致します。  
多く方が、すでにご存じだと思いますが、2人は共同で、  
アガカーン病院前にあるビルの Medi Plaza で通常診療を行っています。

医療機関リストに彼らの携帯番号を記載していますが、  
必要があれば、直接連絡してきてくれても構わないと承諾を得ています。  
彼らに連絡して、救急車、病院入院の手配が必要であればアレンジをしてくれます。  
電話で、「日本人だ、ヘルプが必要だ」と伝われば動いてくれます。

アメリカ大使館医務官とも相談したところ

やはり、最後は やはり

この Dr. Dogra と Dr. Bhogal しかいないとの共通の認識です。

Dr. Dogra [Mobil: 0722-751851]

Dr. Bhogal [Mobil: 0721-258525]

### 『3』 それでは大使館のメディカル・ホットラインは何？

今回、皆様のために何が出来るのかを考えました。長崎大学ケニアプロジェクト拠点長の一瀬教授並びに Child Doctor -Kenya の公文先生にご相談しところ、私をサポートして頂けると言ってくださり、選挙期間中に限定した、健康相談ホットラインを開設ことにしました。

ホットラインの対応では一瀬教授並びに公文先生のサポートを頂くことになっていますが、基本的には、大使館医務官ひとりがホットライン対応をするため、できる範囲に限りがあります。

したがって、医療機関に関する情報提供と健康相談を中心に行いますが、特に治安が悪化し、身に迫る危険や不安、外出出来ないなどの閉塞感で『心がくじけそうな場合』等の場合には、ご案内しているホットラインをご利用頂きたいと考えていますので宜しくお願い申し上げます。

#### 【医療が必要な場合】

- a) Nairobi 病院、Aga-Khan 病院を受診
- b) Dr.Dogra / Dr. Bhogal の受診、相談
- c) 大使館メディカル・ホットラインへ相談